



第55期中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日まで



株式会社 **エクセディ**

ごあいさつ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第55期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）の営業の概況などにつきまして、ここにご報告いたします。

株主のみなさまには、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

ごあいさつ	1
営業の概況	2
企業ニュース	3
主要製品	4
財務データ	5
連結貸借対照表の要旨	6
連結損益計算書の要旨 / 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 ...	7
貸借対照表の要旨	8
損益計算書の要旨	9
株式データ	10
会社データ	10



取締役社長
中野 健

営業の概況

自動車部品業界においては、国内各自動車メーカーの新車投入効果、北米及びアジア自動車市場の堅調な推移により販売が拡大しておりますが、鋼材や原油価格の高騰によるコストアップといった先行懸念材料も増大しております。

このような環境の中で、当社グループは、国内及び米国におけるAT（自動変速装置関連）事業、アジアにおけるMT（手動変速装置関連）事業の拡大に注力するとともに、品質管理体制の強化、徹底したコストダウン活動に努めてまいりました。

この結果、当社グループの売上高は663億円（前年同期比12.5%増）営業利益は63億円（前年同期比18.7%増）、経常利益は64億円（前年同期比33.3%増）、中間純利益は34億円（前年同期比30.1%増）となりました。

（セグメント情報）

事業の種類別セグメントの概況は次のとおりであります。

[MT]

国内は前年同期比ばいで推移しましたが、アジア市場が堅調に推移したため、売上高は240億円（前年同期比2.6%増）営業利益は32億円（前年同期比9.0%増）となりました。

[AT]

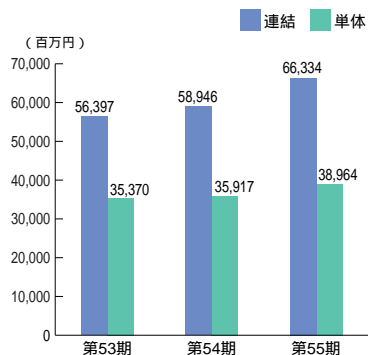
国内各自動車メーカーの新車投入効果、前年7月に増設拡張した米国トルクコンバータビジネス、韓国向け輸出の増加等により、売上高は361億円（前年同期比15.7%増）、営業利益は31億円（前年同期比3.8%増）となりました。

[その他]

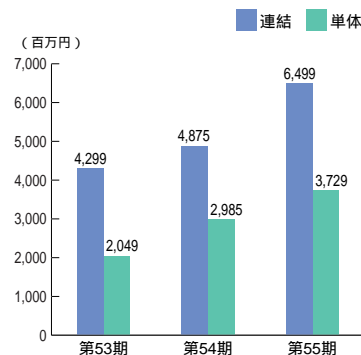
フォークリフト用製品、バイク用製品等の販売増加により、売上高は90億円（前年同期比43.5%増）、営業利益は3億円（前年同期は 2億円）となりました。

所在地別セグメントの概況は次のとおりです。

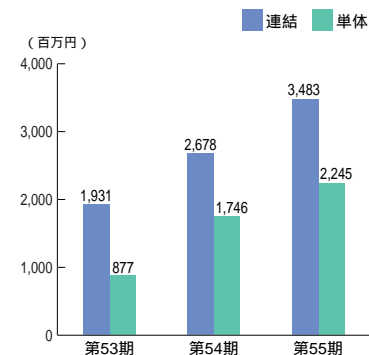
売上高(中間期)



経常利益(中間期)



当期純利益(中間期)



[日本]

国内各自動車メーカーの新車投入効果、アジア向け輸出の増加により、売上高は532億円（前年同期比14.0%増）、営業利益は44億円（前年同期比9.1%増）となりました。

[米国]

前年7月より新たなトルクコンバータビジネスを開始しており、売上高は131億円（前年同期比13.2%増）、営業利益は10億円（前年同期比110.3%増）となりました。

[アジア・オセアニア]

アジア諸国の自動車生産が順調に推移していること、バイク用製品の販売が増加したことにより、売上高は66億円（前年同期比34.3%増）、営業利益は8億円（前年同期比24.2%増）となりました。

[その他]

売上高は9億円（前年同期比7.1%減）、営業利益は1億円（前年同期比8.3%減）となりました。

通期の見通しといたしましては、国内事業は新車投入効果、アジア向け輸出の増加により売上が増加するものと見込んでおります。海外では、アジア市場は概ね堅調に推移、米国事業は微増と見ております。収益面におきましては、売上高増加による収益の増加を見込んでおりますが、鋼材価格等の上昇があり、コスト面では、さらに厳しい状況になるものと予測しております。当社グループといたしましては、燃費向上、低燃費エンジン搭載車両の振動・騒音対策等の環境対応製品の開発を進めるとともに、品質管理を徹底、さらなる合理化努力により収益を確保する所存であります。

以上により、通期の売上高は1,320億円（前期比7.9%増）経常利益は122億円（前期比10.9%増）、当期純利益は70億円（前期比35.2%増）を予想しております。

企業ニュース

商用車用AMTユニットを納入開始

本年度より、商用車用AMT（オートメーティッドマニュアルトランスミッション）ユニットの納入を開始いたしました。

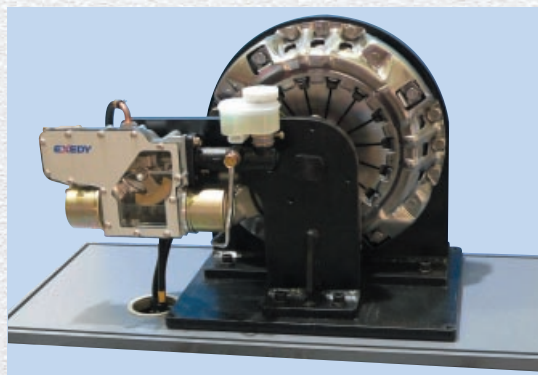
AMTは、マニュアルトランスミッションのクラッチ操作や変速操作を電子制御により自動化するものです。

日本では、乗用車のAT比率は90%を超える時代となっていますが、商用車においては未だMT車が主流を占めており、MT車と同等に低燃費で、かつ、AT車と同等なイーゼードライブを実現するAMTの実用化が望まれております。

この新商品は、従来のAMTに比して、

- ・既存のMT車に後付で搭載可能
- ・小型車から大型車まで対応可能
- ・発進時の微動制御に優れる

等の特長を有しており、時代にマッチした商品として販売の拡大が見込まれます。



トルクコンバータ増産プロジェクトスタート

トルクコンバータの受注増加に対応するため、本年4月より、生産能力増強プロジェクトをスタートさせました。

このプロジェクトは、

1. 新規45品種の量産化
2. 新規生産設備（約350台、3ライン）の導入
3. 既存ライン・設備のコンパクト化とレイアウト変更（設備約700台を移動）
4. 既存ラインの生産性向上

の4つをテーマとした活動により、2003年度に22万台であったトルクコンバータの月あたり生産能力を、2005年9月には、31万5千台に引き上げるものです。



主要製品

部	門	主 要 製 品 名
自動車部門	MT（手動変速装置関連事業）	クラッチディスク、クラッチカバー、2マスフライホイール
	AT（自動変速装置関連事業）	トルクコンバータ、オートマチックトランスミッション部品、CVT用ダンパー
その他	産業機械用、自動二輪車用等	パワーシフトトランスミッション・同部品、トルクコンバータ、油圧クラッチ、コントロールバルブ、アクスル、ブレーキ、デュアルクラッチ、ワンウェイクラッチ



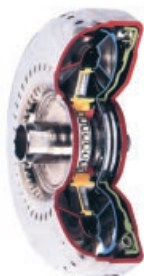
WAD（ワイドアングルダンパー）



クラッチカバー（DSTタイプ）



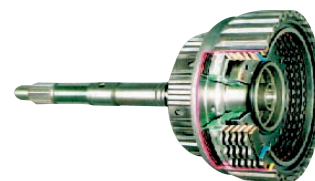
フォークリフト用トランスミッション



ユニティトルクコンバータ



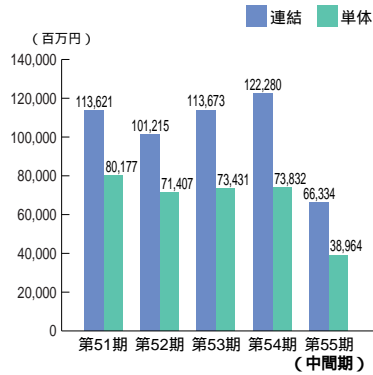
ロックアップダンパー



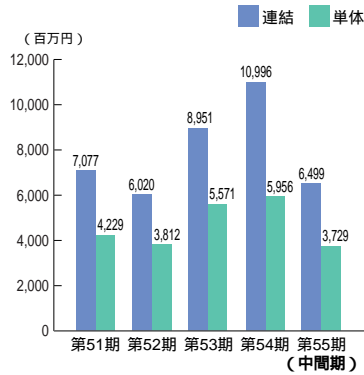
湿式クラッチアセンブリ

財務データ

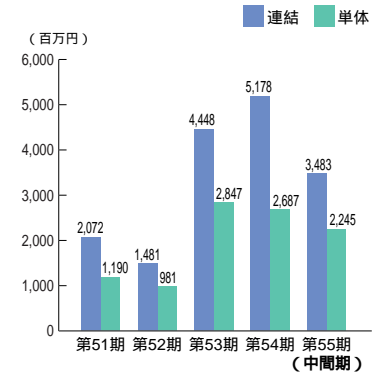
売上高



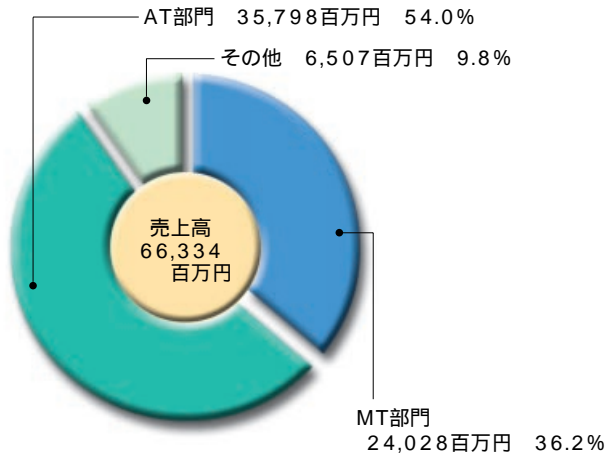
経常利益



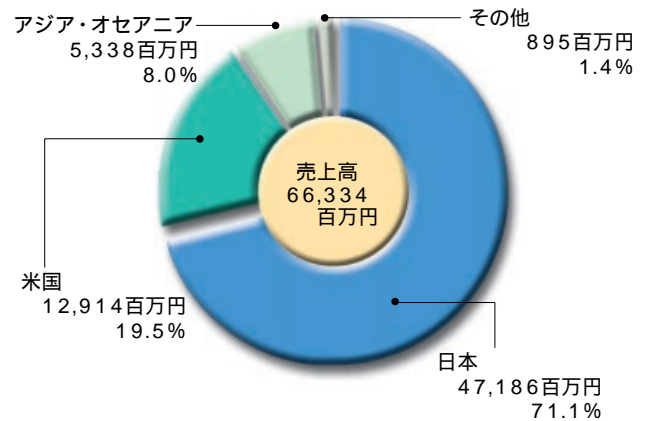
当期純利益



部門別連結売上高構成比 (中間期)



所在地別連結売上高構成比 (中間期)



各セグメントの売上高は外部売上高を表示しております。

Consolidated Balance Sheets

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成16年9月期	平成16年3月期	科 目	平成16年9月期	平成16年3月期
	(平成16年9月30日現在)	(平成16年3月31日現在)		(平成16年9月30日現在)	(平成16年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	59,858	55,398	流 動 負 債	27,059	25,074
現金及び預金	19,418	16,811	支払手形及び買掛金	11,753	10,976
受取手形及び売掛金	26,982	25,666	短期借入金	4,939	5,025
たな卸資産	10,906	10,338	未払法人税等	2,453	1,646
その他	2,932	2,799	その他	7,912	7,425
貸倒引当金	381	218	固定負債	12,131	12,022
固 定 資 産	56,415	55,400	長期借入金	2,738	2,593
有形固定資産	47,951	47,040	退職給付引当金	8,036	7,927
建物及び構築物	14,156	13,889	その他	1,355	1,500
機械装置及び運搬具	20,007	19,316	負債合計	39,190	37,096
その他	13,788	13,834	少 数 株 主 持 分 の 部		
無形固定資産	946	939	少数株主持分	4,431	4,087
投資その他の資産	7,517	7,419	資 本 の 部		
投資有価証券	3,170	3,299	資本金	7,272	7,226
その他	4,483	4,248	資本剰余金	7,757	7,712
貸倒引当金	135	127	利益剰余金	58,356	55,406
資産合計	116,273	110,798	その他有価証券評価差額金	1,030	1,112
			為替換算調整勘定	1,762	1,842
			自己株式	2	1
			資本合計	72,652	69,613
			負債少数株主持分資本合計	116,273	110,798

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Income Statements

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成16年9月期	平成15年9月期
	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)	(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)
売 上 高	66,334	58,946
売 上 原 価	50,306	45,088
売 上 総 利 益	16,028	13,858
販売費及び一般管理費	9,654	8,486
営 業 利 益	6,374	5,371
営 業 外 収 益	342	277
営 業 外 費 用	217	773
経 常 利 益	6,499	4,875
特 別 利 益	37	
特 別 損 失	331	303
税金等調整前中間純利益	6,205	4,572
法人税、住民税及び事業税	2,372	1,882
法 人 税 等 調 整 額	200	226
少数株主利益(控除)	549	237
中 間 純 利 益	3,483	2,678

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Consolidated Statement of Cash Flow

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成16年9月期	平成15年9月期
	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)	(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,205	4,572
減 価 償 却 費	3,654	3,554
退職給付引当金の減少(増加)額	5	230
そ の 他	683	484
小 計	9,170	7,873
法人税等の支払額	1,561	2,978
そ の 他	23	54
合 計	7,585	4,840
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,444	4,817
そ の 他	39	575
合 計	4,484	5,392
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増加(減少)額	687	180
長期借入金の純減少額	638	809
配 当 金 の 支 払 額	436	546
そ の 他	122	106
合 計	510	1,642
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	50
現金及び現金同等物の増減額	2,630	2,245
現金及び現金同等物期首残高	16,751	16,529
現金及び現金同等物中間期末残高	19,382	14,284

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成16年9月期	平成16年3月期	科 目	平成16年9月期	平成16年3月期
	(平成16年9月30日現在)	(平成16年3月31日現在)		(平成16年9月30日現在)	(平成16年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	33,760	31,592	流 動 負 債	15,566	14,744
現金及び預金	9,411	7,529	支払手形及び買掛金	7,484	7,300
受取手形及び売掛金	18,236	18,216	短期借入金	400	400
たな卸資産	4,016	3,943	一年以内返済の長期借入金	2,166	2,416
その他	2,440	2,103	未払金	621	565
貸倒引当金	343	200	未払法人税等	1,618	748
固 定 資 産	44,397	43,886	その他	3,276	3,314
有形固定資産	23,564	23,233	固 定 負 債	7,942	7,831
建物及び構築物	5,895	5,829	社 債	100	100
機械及び装置	9,178	9,259	退職給付引当金	7,564	7,467
その他	8,489	8,143	その他	277	263
無形固定資産	588	557	負 債 合 計	23,509	22,575
投資その他の資産	20,245	20,095	資 本 の 部		
投資有価証券	2,631	2,774	資 本 金	7,272	7,226
関係会社株式	13,136	13,136	資 本 剰 余 金	7,757	7,712
その他	4,497	4,206	利 益 剰 余 金	38,604	36,861
貸倒引当金	20	21	その他有価証券評価差額金	1,017	1,104
資 産 合 計	78,158	75,478	自 己 株 式	2	1
			資 本 合 計	54,649	52,903
			負 債 及 び 資 本 合 計	78,158	75,478

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Income Statements

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	平成16年9月期	平成15年9月期
	(平成16年4月1日から平成16年9月30日まで)	(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)
売 上 高	38,964	35,917
売 上 原 価	30,476	27,813
売 上 総 利 益	8,488	8,104
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,717	5,372
営 業 利 益	2,771	2,731
営 業 外 収 益	1,048	715
営 業 外 費 用	90	461
経 常 利 益	3,729	2,985
特 別 利 益	37	
特 別 損 失	282	278
税 引 前 中 間 純 利 益	3,483	2,706
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,507	1,160
法 人 税 等 調 整 額	268	199
中 間 純 利 益	2,245	1,746
前 期 繰 越 利 益	768	839
中 間 未 処 分 利 益	3,013	2,585

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式データ

(平成16年9月30日現在)

株式の状況

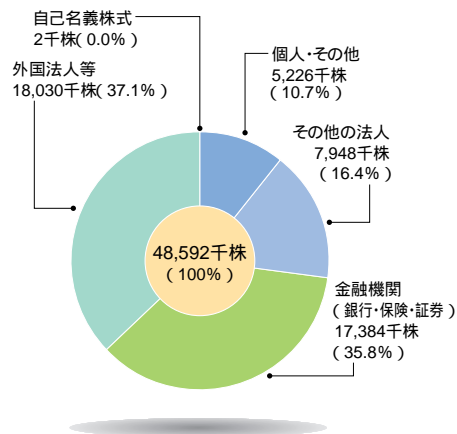
会社が発行する株式の総数	168,000千株
発行済株式総数	48,592千株
株主数	2,878名

大株主(上位10位)

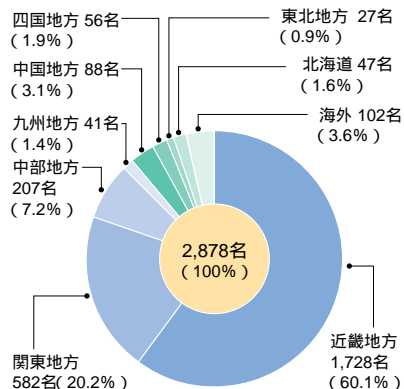
株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,624千株	9.52%
アイシンホールディングスオブアメリカ	4,500	9.27
アイシンヨーロッパSA	4,500	9.27
アイシン精機株式会社	3,431	7.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,382	6.97
ジェービーエムシービーオムニバスコーエスベンシヨントリテージャステック	1,856	3.82
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,779	3.67
日野自動車株式会社	1,271	2.62
ダイハツ工業株式会社	1,241	2.56
日本生命保険相互会社	1,128	2.32

(注) 記載株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式数分布



地域別株主数分布



Corporate Data

会社データ



会社の概況 (平成16年9月30日現在)

商号	株式会社エクセディ
英文社名	EXEDY Corporation
設立	昭和25年7月1日
資本金	72億72百万円
従業員数	1,643名

株主メモ

決算期日	毎年 3月31日 年1回決算
利益配当	毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対して支払う
中間配当	毎年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対して支払う
定時株主総会	毎年 6月
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話(フリーダイヤル) 0120-094-777
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話(フリーダイヤル) 0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪支店証券代行部) インターネットホームページ http://www.ufjtrustbank.co.jp/
一単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	大阪市において発行する日本経済新聞に掲載する。

貸借対照表及び損益計算書は公告に代えて下記のウェブサイトに掲示しております。

<http://www.exedy.co.jp/jweb/news/2003/kessankoukoku.html>

株式会社 **エクセディ**